

北九州市民の会ニュース

第2回映画「母」実行委員会 藤沢議員が小林多喜二を語る

5月18日、映画「母」実行委員会で、宮本百合子とともに小林多喜二についても憧憬の深い藤沢市議が「小林多喜二とその時代」について語った。多喜二の生涯と代表作品を結びつけ、共謀罪の今と重ね合わせた卓話だった。映画「母」上映成功のため全力をつくす決意を固めることができた。



<追記：実行委員会ニュースから>

5月27日～28日の小林多喜二の母の上映には、585名の参加がありました。

初日の27日の14時30分の上映には、会場をほぼ満席にする状況となりました。

参加者の感想は非常によいです。わざわざ、受付の前で、「良い映画を見せていただきありがとうございました」と頭を下げられる方もいらっしゃいました。

「共謀罪」法案の強行採決に 怒りの19日集会

自民、公明、維新3党は19日、国民の内心を処罰する「共謀罪」法案を衆院法務委員会で強行採決しました。平和をあきらめない北九州ネット主催の19日定例集会には、多くの市民・団体が参加、怒りの集会となりました。

集会は18:30～19:30、小倉駅デッキ。北九州地区労連永富議長、JANPUの竹内議長、ユニオン北九州の本村委員長などが「共謀法案を必ず廃案にするために全力を挙げる」と、怒りを込めて決意を述べました。最後はシュプレヒコールで閉めた。



第246回さよなら原発金曜行動

5月19日(金)、毎週定例の「さよなら原発金曜行動」が、粘り強く繰り広げられています。この日は、平和をあきらめない北九州ネット主催の19日定例集会もあり、参加者が多かった。246回目になるさよなら原発は、17:30～18:30小倉駅デッキで「原発廃炉」「再稼働反対」をアピールしました。



幹事会開かれる

5月23日、市民の会幹事会がもたれました。幹事の方の出席率は、芳しくありませんでしたが、2017年度の時宜にかなった活動方針とこれを実行するための予算案が討議され満場一致で採択されました。また、5団体より、大変刺激的な市民運動交流・意見発表がありました。具体的な活動方針については、市民の会Blogに掲載されています。



5月27日(土)は、多くのイベント が実施されました。

福岡県労連第68回評議員会が、この日開かれました。2017年春闘の総括、これからのたたかい(夏季闘争)、共謀罪成立阻止に向けた、たたかい等の議案は満場一致で採択されました。



2017年度北九州社保協総会があり、記念講演は、講師：長友薫輝氏「医療・介護一体改革の行方と私たちの課題」は、いろいろな問題が根本で結びついていることが分かりました。



そのほかにも、辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会第4回総会in北九州、福岡県自治体問題研究所第40回総会も開催。

今後の予定

- 06/09(金) 249回さよなら原発金曜行動
18:00～19:00 小倉駅デッキ
- 06/10(土) 八幡市民会館をもっと知る
「市民学習会」
13:30～15:30 八幡東生涯学習センター
講堂(1F)
- 06/16(金) 250回さよなら原発金曜行動
18:00～19:00 小倉駅デッキ

平和とくらしを守る北九州市民の会
〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
093-592-5000 FAX093-571-4346
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail;koe@siminnokai.com

北九州市民の会ニュース



村野藤吾の 八幡市民会館を もっと知る「市民学習会」

講師: 笠原 一人 先生

日時: 6月10日(土)

13:30~15:30

会場: 八幡東生涯学習センター

講堂(1階)

◎参加自由・無料

会場でのカンパに、ご協力いただけますと、ありがたいです。

《講演概要》

八幡市民会館は、八幡市(当時)の戦後復興と発展をリードした守田道隆市長の依頼により、後に文化勲章を受章する建築家・村野藤吾が設計し、1958年に竣工したものです。

八幡製鉄所にちなんだ赤茶色のタイルに覆われ、ギリシア神殿のようにシンボリックで堂々とした、それでいて軽快で清々しい姿を見せています。それは戦後民主主義を象徴し、八幡の戦後史を体現する優れた文化遺産であり、村野藤吾ならではの作品だと言えます。

竣工後約60年近くにわたって市民に親しまれてきた、この建物の文化遺産としての価値と今後の可能性について考えてみたいと思います。

■講演タイトル

文化遺産としての 八幡市民会館

■講師プロフィール

笠原一人(かさはらかずと)

京都工芸繊維大学助教

村野藤吾の設計研究会事務局



1970年 神戸市生まれ

1998年 京都工芸繊維大学

大学院博士課程修了

2010-11年 オランダ・デルフト工科

大学客員研究員

近代建築史・建築保存再生論。共著に

『村野藤吾とクライアント』(国書刊

行会)、『村野藤吾の建築一模型が語る

豊饒な世界一』(青幻舎)、『村野

藤吾の住宅デザイン』(国書刊行会)、

『関西のモダニズム建築』(淡交社)

ほか。

身近にありすぎて、私たちは見過ごしていたのではないのでしょうか!?
今回、村野藤吾の作品を研究しておられる笠原一人先生に、詳しくお話しただく機会を得ました。
「八幡市民会館」のことを、改めて知り、今後のまちづくりに生かせる機会になるものと思います。
どうぞ、自由にご参加ください。

★会場: JR八幡駅 徒歩で南へ15分

[ひびきホール・国際交流センターと隣接]

★駐車場: 80円/30分 近隣にコインパーキングあり

主催: 八幡市民会館の活用を

求める連絡会

後援: DOCOMOMO Japan/朝日新聞

社/読売新聞西部本社/小倉タイムス

/西日本新聞社/毎日新聞社

問合せ: 090-6297-9009(加来)

090-9563-3815(三浦)